

# ご存知でしたか？ 私たちの練馬に自衛隊が二つ

練馬区基本構想(昭和52年)「練馬区に所在する陸上自衛隊は、住宅地域にあって、周辺的生活環境と隔絶された地域を形成している。良好な住環境を確保するため、その移転を要望し、跡地は、公園、緑地など地域環境と融和した土地利用を国に要請する。」

陸上自衛隊駐屯地	朝霞	練馬
所在地	練馬区大泉学園町・埼玉県朝霞市・新座市・和光市	練馬区北町
歴史	1930年(昭和5年)東京ゴルフ倶楽部 1941年予科士官学校 1945年米軍基地 1960年自衛隊駐屯地	1930年(昭和5年)東京第一陸軍造兵廠練馬倉庫 1951年警察予備隊
長さ/大きさ(東京ドーム)	東西2キロ南北1キロ/38個分	東西、南北各700メートル/6個分
1キロ周囲に小中学校高校が	27校	15校
弾薬庫 棟/最大貯蔵量	4棟/9トン	6棟/1.4トン
隊員(家族は除く)	約4,000名	約2,000名
ミサイル	地对空ミサイル	修理工場
射撃場(実弾・空包)	実弾用8棟(屋外1棟/屋内7棟) 演習場は空包のみ。例外として2009年4月、航空自衛隊のPAC3ミサイル(実弾)が実戦配備された。	無し。
射撃訓練 人/日数 平成15年	24,387人/260日(一般訓練も含めると95,976人/336日)自衛隊が決めた騒音禁止日は年間164日。	かつて、機関銃や小銃の空包の訓練を実施していた。最近では自粛している。
米軍基地として提供	土地 16,990㎡ 建物 13,500㎡	無し。
こんなこと困っていた。住民と役所と議会など連携して解決した。	米軍は日米共同演習において練馬区内ホテル使用断念。米軍演習における住民の不安解消のため自衛隊が町内会に演習の概要を説明。演習場の機関銃や大砲の空包などの訓練通知を新たに練馬区、和光市や駐屯地に隣接する練馬区内の小中学校へ文書で通知。1年間の朝霞訓練場騒音禁止日一覧表を練馬区などへ送付。	駐屯地削って歩道拡幅。大砲の空包発射・小銃射撃・夜間ヘリコプター離発着・南方転地訓練など中止。ごみ焼却炉撤廃。ヘリコプターの土ぼこり解消。両駐屯地の騒音などの苦情については練馬区から両駐屯地へ連絡し、駐屯地と協議する。
まだまだ、困っています。	屋外実弾射撃訓練が昨年から再開された。機関銃の弾の成分の鉛が水に溶けて土壌水質汚染が不安。騒音禁止日に訓練を強行する自衛隊。特に大砲は突然ドカーンと撃ってくる。新座総合技術高校は「生徒の集中力が阻害され授業が成り立たない」と駐屯地へ訴えている。自閉症の児童は大きな音によってパニックになる。観閲式が近づくとヘリコプターの編隊飛行などで自治体や駐屯地へ毎回苦情の電話が鳴り響く。地元の読売新聞でも「家が揺れる」など大きな記事として扱った。	駐屯地東側は20年の運動で歩道が広がったが、駐屯地西側には歩道がない。生徒や学童の安全に通学できるように歩道新設を要望する。